

学級活動の内容（小学校）

〔共通事項〕 いずれの学年においても取り扱う内容

(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全

ア 希望や目標をもって生きる態度の形成

イ 基本的な生活習慣の形成

ウ 望ましい人間関係の形成

エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解

オ 学校図書館の利用

カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

（平成20年告示 小学校学習指導要領）₁

学級活動の内容（中学校）

(2) 適応と成長及び健康安全

ア 思春期の不安や悩みとその解決

イ 自己及び他者の個性の理解と尊重

ウ 社会の一員としての自覚と責任

エ 男女相互の理解と協力

オ 望ましい人間関係の確立

カ ボランティア活動の意義の理解と参加

キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

ク 性的な発達への適応

ケ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

（平成20年告示 中学校学習指導要領）₂

ホームルーム活動の内容（高校）

(2) 適応と成長及び健康安全

ア 青年期の悩みや課題とその解決

イ 自己及び他者の個性の理解と尊重

ウ 社会生活における役割の自覚と自己責任

エ 男女相互の理解と協力

オ コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立

カ ボランティア活動の意義の理解と参画

キ 国際理解と国際交流

ク 心身の健康と健全な生活態度や規律ある習慣の確立

ケ 生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣の確立

(平成21年告示 高等学校学習指導要領³)

道徳の内容（中学校）

2 主として他の人とのかかわりに関すること。

(1) 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。

(2) 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。

(3) 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。

(4) 男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。

(5) それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。

(6) 多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえる。

(4) (略)

指導に当たっては、…(中略)…学校においては、異性の特性や違いをきちんと受け止め、相手の人格を尊ぶ姿勢を育成することが重要である。更に、保健体育科における性に関する指導等との関連を生かした指導の工夫が望まれる。

(平成20年告示 中学校学習指導要領解説 p.48)下線加筆

総合的な学習の時間

第1. 目標

横断的・総合的な学習や探求的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題解決や探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

(平成20年告示 小学校学習指導要領)

(平成20年告示 中学校学習指導要領)

5

総合的な学習の時間

第1. 目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。

(平成21年告示 高等学校学習指導要領)下線加筆

6

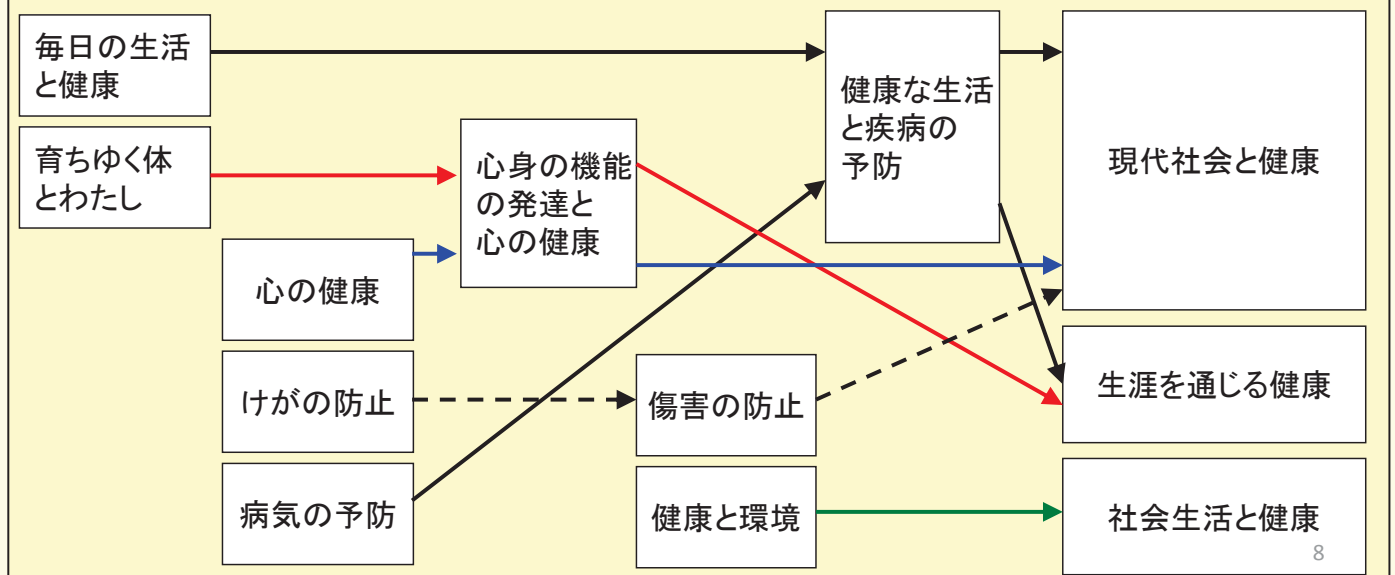
②保健教育の中核となる体育科・保健体育科の学習指導要領の理解を深めること

- 児童生徒の発達の段階を踏まえて系統的に、配当時間に基づいて計画的に学習指導する。
- 学習指導要領に示された内容：教えるべき内容
学習指導要領解説：具体的な内容についての解説
教科書：学習指導要領に準拠した主たる教材
副教材：自作等による補助的な教材

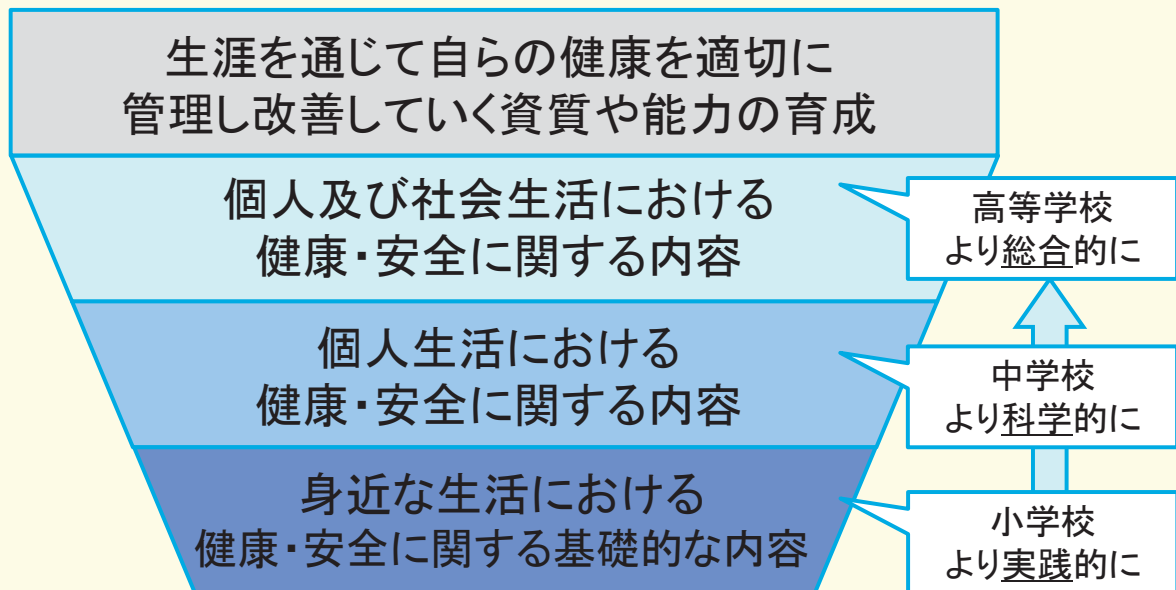
(野津有司)

保健学習の内容の系統性

小学校		中学校			高等学校
3・4年	5・6年	1年	2年	3年	入学年次及びその次の年次の2か年
8時間程度	16時間程度	48時間程度			2単位(70時間)



保健学習の体系イメージ



(文部科学省編:「生きる力」を育む小学校保健教育の手引き, 2013)

学校教育法 (平成19年, 一部改正)

第30条 第2項

生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに特に意を用いなければならない。

学力の重要な要素 (中央教育審議会答申, 平成20年)

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等
- (3) 学習意欲

評価の観点

(国立教育政策研究所教育課程研究センター)

保健は3観点(赤字)

これまで (平成14年)	新学習指導要領に基づく (平成22年)
「関心・意欲・態度」	「関心・意欲・態度」
「思考・判断」	「思考・判断・表現」
「技能・表現」	「技能」
「知識・理解」	「知識・理解」

11

(平成20年告示小学校学習指導要領解説体育編)

2. 内容の取扱い

(6)保健の指導に当たっては、知識を活用する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫を行うこと。

(6)は、知識を習得する学習活動を重視するとともに、習得した知識を活用する学習活動を積極的に行うことにより、思考力・判断力等を育成していくことを示したものである。指導に当たっては、身近な日常生活の体験や事例などを用いた話し合い、ブレインストーミング、応急手当などの実習、実験などを取り入れること、地域や学校の実情に応じて養護教諭や栄養教諭、学校栄養職員など専門性を有する教職員等の参加・協力を推進することなど、多様な指導方法の工夫を行うよう配慮することを示したものである。

12

3. 内容の取扱い

(10)保健分野の指導に際しては、知識を活用する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫を行うものとする。

(10)は、知識の習得を重視した上で、知識を活用する学習活動を積極的に行うことにより、思考力・判断力等を育成していくことを示したものである。指導に当たっては、事例などを用いたディスカッション、ブレインストーミング、心肺蘇生法などの実習、実験、課題学習などを取り入れること、また、必要に応じてコンピュータ等を活用すること、地域や学校の実情に応じて養護教諭や栄養教諭、学校栄養職員など専門性を有する教職員等の参加・協力を推進することなど多様な指導方法の工夫を行うよう配慮することを示したものである。

実習を取り入れる際には、応急手当の意義や手順など、該当する指導内容を理解できるようにすることに留意する必要がある。

また、実験を取り入れるねらいは、実験の方法を習得することではなく、内容について仮説を設定し、これを検証したり、解決したりするという実証的な問題解決を自ら行う活動を重視し、科学的な事実や法則といった指導内容を理解できるようにすることに主眼を置くことが大切である。

3. 内容の取扱い

(8)指導に際しては、知識を活用する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫を行うものとする。

(8)は、知識の習得を重視した上で、知識を活用する学習活動を積極的に行うことにより、思考力・判断力等を育成していくことを示したものである。指導に当たっては、ディスカッション、ブレインストーミング、ロールプレイング(役割演技法)、心肺蘇生法などの実習や実験、課題学習などを取り入れること、地域や学校の実情に応じて養護教諭や栄養教諭、学校栄養職員など専門性を有する教職員等の参加・協力を推進することなど多様な指導方法の工夫を行うよう配慮することを示したものである。

実習を取り入れる際には、応急手当の意義や手順など、該当する指導内容を理解できるようにすることに留意する必要がある。

また、実験を取り入れるねらいは、実験の方法を習得することではなく、内容について仮説を設定し、これを検証したり、解決したりするという実証的な問題解決を自ら行う活動を重視し、科学的な事実や法則といった指導内容を理解できるようにすることに主眼を置くことが大切である。

③扱う内容の教育的価値の吟味と 多様な指導方法の工夫を！

- 実態と発達段階を踏まえて、教育的に価値ある内容か？
- 扱う内容に応じた効果的な指導方法か？
- 肯定的に展開されているか？
- 集団指導では、全ての児童生徒に真剣に考える時間と材料と仲間を保証しよう！

(野津有司, 2009)15

④肯定的に展開することの大切さ

- 子どもたちが否定されない安心感を持ち、生き生きと自分を発揮し、皆で探究していけるような学びの教室・空間づくりが基盤として求められる。
- そのためには、学習指導ができる限り肯定的に展開される必要がある。
- このことは、指導者にとって暗黙の前提とも言えるが、改めて強調しておきたい。

(野津有司, 2008)